

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 12 月 29 作成)

小委員会名	CFT 構造計算規準小委員会		主 査 名：津田恵吾 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼コンクリート合成構造運営委員会)		委員長名：緑川光正 主 査 名：堺 純一
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2018 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	『コンクリート充填鋼管構造計算規準・同解説』を執筆および刊行する。 初年度：『コンクリート充填鋼管構造計算規準・同解説』の各章の執筆と審議を行う 2 年度：同上 3 年度：同上		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：津田恵吾 (北九州市立大学) 幹事：福元敏之 (鹿島建設(株)), 藤永隆 (神戸大学) 委員：池田憲一 (東京理科大学), 伊藤倫夫 (センクシア(株)), 荻野雅志 (株日本設計), 河野昭彦 (九州大学), 城戸將江 (北九州市立大学), 時野谷浩良 (株大林組), 蜷川利彦 (九州大学), 藤本利昭 (日本大学), 松尾真太郎 (九州大学), 吉貝 滋 (鹿島建設(株))		
設置 WG (WG 名：目的)			
2016 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	1. PD：CFT構造計算規準化に向けて 一長周期地震動も考慮した規準 『構造部門(SCCS)パネルディスカッション資料：同上』 参加者数 125名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 各章の構成については審議が終わっているが、執筆は進行中である。 当初活動計画 (2017年度に刊行および講習会) より遅れているが、初年度の委員会での討議により、長く使える規準とするため、1)長周期地震動に対する柱材の保有性能の実験データの蓄積, 2)柱材の変形能力の再評価, 3)耐力評価式の見直し, をすることになったためである。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 特になし